

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21114
課題名	当科にて唾液腺内視鏡を用いて唾石を摘出した症例の観察研究
研究期間	実施許可日～2028年3月31日
研究の対象	2010年4月から2023年3月までに当院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科にて唾液腺内視鏡を用いて唾石を摘出した患者様
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：疾患、年齢、性別、手術日、検査データ、手術による合併症、観察期間、手術後の病勢の推移など） ■手術で採取した組織（対象臓器等名：唾石）
研究の意義、目的	唾液を作る腺は主なものに耳の下にある腺、顎の下にある腺があり、それぞれ管を出して口腔内に開口しています。唾石症はその腺や管に石ができ、唾液の流れを堰き止め、腺が腫れたり（特に食事時）痛くなったりする疾患です。繰り返す場合は手術となりますが、頸部の皮膚を切開して腺を唾石ごと摘出する方法が一般に行われています。しかし、近年、細い内視鏡（唾液腺内視鏡）を使って口の中から石をとる方法が開発されました。私たちは、日本でも早くからこの手術方法を取り入れた耳鼻咽喉科施設の1つです。すでに多くの患者さんの唾石を頸部切開することなく摘出しています。今回その手術の有効性をまとめ報告し、より多くの施設にこの手術法が広がるようにしたいと考えています。本研究に対する主旨をご理解して頂き、ご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。
研究の方法	本手術にて唾石を摘出した患者さんの手術後の経過をまとめ、その有効性を検討します。また、色々な因子（年齢、性別、病悩期間、唾石の部位、大きさ、性状など）との関連を調べ、どのような因子が術後の経過と関係があるのかを調べます。その結果からどのような患者さんに本手術が合っているのか検討します。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：高原 幹 所属：旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 郵便番号、住所：078-8510、北海道旭川市緑が丘東2条1丁目 電話番号：0166-68-2554